

## 読者アンケート

秋号はいかがでしたか? 四季誌和装家は読者の皆さまが参加する情報誌です。  
ご希望、アイデアをお寄せいただくだけでなく、ぜひその企画を実現するために参加していただきたいと思ひます。

### Q1 今号で面白かった(興味深かった)記事は? (複数選択可、☑にチェックしてください)

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1 表紙(夏きもの楽しみました) | <input type="checkbox"/> 7 アオザイ便り                     |
| <input type="checkbox"/> 2 公式メルマガレビュー     | <input type="checkbox"/> 8 WAKATO大学スタート               |
| <input type="checkbox"/> 3 夏きもの写真館        | <input type="checkbox"/> 9 和装家に聞くスペシャル(俳優/篠井英介さん)     |
| <input type="checkbox"/> 4 正会員紹介(はかた匠工芸)  | <input type="checkbox"/> 10 俺の履歴書                     |
| <input type="checkbox"/> 5 正会員紹介(株式会社井上)  | <input type="checkbox"/> 11 スペシャルインタビュー(参議院議員/橋本聖子さん) |
| <input type="checkbox"/> 6 大活躍きものアンバサダー   | <input type="checkbox"/> 12 出版事業のお知らせ                 |

### Q2 四季誌・和装家への意見、注文、応援コメント

#### 応募方法

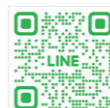
まず、このページに  
記入してから、  
右記のいずれかの方法で

方法① スマホで写真を撮って公式LINEに送信する

方法② スマホ写真を [info@omotenashi.or.jp](mailto:info@omotenashi.or.jp) に送信する

方法③ 03-3661-0007 にファクスする

方法④ 応募専用フォーマットを作りました。スマホで入力&応募ができます。  
<https://form.run/@shikishiwassouka> 右のQRコードもご利用ください。



ご住所 〒 -	
お名前	連絡先
	メールアドレス

四季誌

# 和装家

次号「冬号」vol.7は2025年1月1日に発行。  
みなさまのお手元には2025年1月5日ごろ到着予定です。

皆さんが選んだ  
夏号の記事人気

# ベスト5

- 1 ベトナムWASAIレポート
- 2 俺の履歴書
- 3 和装家アンケート結果発表
- 4 和装家に聞く
- 5 表紙(きもの仲間)

☑ 今回の記事で和装家アンケートの結果に大変興味を持ちました。特に年代と購入総額は気になるところ。結果を見て自分も多数のところだったので、ちょっと安心しました。これからも他の内容でのアンケート続けてほしいです(中野区・永井さん)

☑ きものの借りをきもので返したいです。和装技能士目指しています(岡崎市・岩月さん)

☑ WAKATOMOのWA(和)が広がりますように!(徳島県・阿部さん)

☑ 夏号は内容が充実して、分かりやすかったです。アンケート集計に興味を持ちました。これからのキャスターの取材記事に期待します(練馬区・中澤さん)

☑ 毎回、四季誌和装家が届くのを、首をなが〜くして待っています。やはり紙で観るのがいいですね!昔のKOSODEのように皆さんのコーディネートコーナーとかもあると楽しいかもしれませんね!(世田谷区・石渡さん)

☑ 編集後記拝見しました。わたしと同じだ!ずっと、着る機会って…わざわざ主催するもの?しっくり来ず、反発心すら感じておりました。普通に着られる日々を心待ちにしております!(成田市・岩館さん)

☑ 写真がいつも同じ人たちで、その上、複数枚掲載されていると思います。編集でチェックしてほしいです。またいつもの人たちとってしまいます。着物の産地や、伝統工芸品の紹介してほしいです(豊島区・成澤さん)

#### 編集後記

夏を過ぎるごとに、若い人たちのゆかた姿が多くなっているように思います。男女問わず、色柄もどんどんオシャレになっていますよね。そして、やるなあーと思うのは彼女、彼たちの履き物。下駄は明らかに少数派になりつつあり、様々な履き物を履きこなしています。違和感どころか、似合うなあーというレベルまで達しています。



☑ 和装家の船川さん、とても素敵でした。活動の内容をもっと知りたかったです(愛知県・柴田さん)

☑ 初めて読ませて頂きましたが、全国でこんな多くの人が活動されている姿に、私も微力ながら加わって行けたらと思いました。これからも又、色々な情報が頂ければ幸いです(沖縄県・千里さん)

☑ 洛陽さんのお着物や色んな和装家の方々のコーディネートが見れて目の保養になりました(豊中市・福栄さん)

☑ 和装家さんの素敵なきもの姿を楽しみに拝読しております。福岡在住です。福岡でも着物を世界遺産にするためにも活動があれば、是非企画お願いします(福岡市・吉末さん)

☑ 全国、世界の和装家の方々の活動を見ると私の世界が広がったように感じます!着物を着ることで世界の皆様に日本のすばらしさを伝えることができるのかも、と思うと私のこれからの人生も楽しみです。今は子育て中でなかなか着る機会がないのですが、もう少し自分の時間が持てるようになった時は、何か私に出来る活動をしたいなあ〜それはなんなんだろうなあとも読ませて頂いています(板橋区・金子さん)

きものをどうやって流行らせようか?などと長老たちが損得勘定で不埒なこと?(笑)を何十年も考え続けているうちに、若い人たちが和装を自由に楽しんでいるんです。強引に事を運ぶマーケティングになるより、しなやかなサポーターでありたいと思う今日この頃です。

(四季誌和装家編集長 佐藤正樹)